

施策 8 生涯学習活動の推進									
指標 1	【項目】 新規の公民館事業の講座数				【説明】 新規に企画した公民館事業の講座数				
	単位	現在値 (R1)	実 績 値					目標値 (R7)	
			R2	R3	R4	R5	R6	R7	
	事業	12	11	36	32	43	42	18	
	担当課評価								
【担当課】 中央公民館									
・進捗は順調です。 ・青少年対象10事業、子育て対象12事業、成人対象20事業を実施することができました。 ・引き続き、住民ニーズを捉え、事業の改善を図りながら新規に企画ができるよう努めます。									
指標 2	【項目】 公民館講座新規参加者の割合				【説明】 公民館講座に初めて参加した者の割合				
	単位	現在値 (R1)	実 績 値					目標値 (R7)	
			R2	R3	R4	R5	R6	R7	
	%	—	—	—	6.5	9.4	8.1	10.0	
	担当課評価								
【担当課】 中央公民館									
・進捗は順調ですが、令和6年度の実績値が令和5年度よりも減少しているため、今後の取組には改善が必要です。 ・地域団体との連携や包括連携協定等を活用し、住民ニーズをよりの確に捉えられるよう事業の改善に努めます。									
指標 3	【項目】 デジタルアーカイブの公開件数				【説明】 市立図書館が所蔵する郷土資料を、ホームページ上で自由に閲覧できるようにするため、デジタル化し公開した件数				
	単位	現在値 (R1)	実 績 値					目標値 (R7)	
			R2	R3	R4	R5	R6	R7	
	件	8	11	16	20	24	27	30	
	評価理由								
【担当課】 中央図書館									
・進捗は順調です。 ・令和6年度には3点の郷土資料を撮影し、著作権等を確認して図書館ホームページに公開しました。									
指標 4	【項目】 小・中学生の図書館利用率				【説明】 小・中学生の人口に対する実利用者数（当該年度中に1回以上の資料貸出者）の割合				
	単位	現在値 (R1)	実 績 値					目標値 (R7)	
			R2	R3	R4	R5	R6	R7	
	%	23.2	13.6	17.6	17.1	17.1	16.1	30.0	
	担当課評価								
【担当課】 中央図書館									
・進捗はおおむね順調ですが、令和6年度の実績値が令和5年度よりも減少しているため、今後の取組には改善が必要です。 ・中学生への働きかけや家庭の読書環境の形成を促す取組の改善が必要です。 ・非来館型サービスである電子書籍の利用登録者が増加しています。 ・小学校低学年の来館者は、保護者と一緒に事業に参加する家庭が増加している傾向にあります。 ・小・中学生の図書館利用のきっかけとなる、読み聞かせや本を紹介する事業を実施し、利用を促すことで、小・中学生の図書館利用率増加に努めます。									

施策 8 生涯学習活動の推進								
指標5	【項目】 展覧会での館蔵資料の公開点数			【説明】 展覧会で公開した館蔵資料の点数				
	単位	現在値 (R1)	実 績 値					目標値 (R7)
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
	点/年	82	339	250	228	515	182	100
	担当課評価							
【担当課】 博物館	- 進捗は順調ですが、令和6年度の実績値が令和5年度よりも減少しているため、今後の取組には改善が必要です。 - 令和6年度も引き続き館蔵資料を積極的に活用し、目標を上回る実績値となっています。展覧会のテーマに沿って大きい資料や美術品などを中心に展示を行ったため、前年度に比べて点数は減少しています。 - 今後も展覧会で館蔵資料を有効に活用するとともに、ホームページやSNSにより館蔵資料の魅力を発信するなど新たな公開方法を検討し、目標値を達成できるよう努めます。							
指標6	【項目】 博物館講座・教室受講満足度			【説明】 受講者アンケートにおいて「大変良かった」「良かった」と回答のあった割合				
	単位	現在値 (R1)	実 績 値					目標値 (R7)
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
	%	97.0	97.3	100	100	96.7	94.5	100
	担当課評価							
【担当課】 博物館	- 進捗は順調ですが、令和6年度の実績値が令和5年度よりも減少しているため、今後の取組には改善が必要です。 - 令和6年度の実績値は高い水準を保っています。 - 満足度向上のため、引き続き魅力ある事業の実施に努め、講座等の内容の充実に取り組むほか、事業の参加申込み手続きの改善に努めます。							

施策 8 生涯学習活動の推進		総合評価
		A
総合評価について	全体として進捗は順調であり、評価も良好です。 指標1の「新規の公民館事業の講座数」については、目標値大きく上回っており、住民ニーズを捉えながら積極的に新規事業を企画しているところです。 また、指標6の「博物館講座・教室受講満足度」についても、令和5年度に引き続き、目標値に近い高い実績値を保っており、今後も満足度向上のため、魅力ある事業の実施と講座等の内容の充実に努めます。 令和7年度までに各指標の目標値を達成できるよう、生涯学習活動の推進のための取組を進めていきます。	
学識経験者等意見	・学校教育と同様に、施策8全体として、社会状況の変化に合わせて、施策を考えていく必要がある。 ・生涯学習の推進にあたり、アンケート等で市民要望を把握することが多いと思うが、自ら声を上げて要望をする市民の意見だけでなく、世の中全体の社会状況を踏まえた要望を把握することが大切であると考え。専門的な知見を持つ人材も活用しながら、市民の要望を把握していただきたい。 ・生涯学習活動を推進する拠点として、公民館・図書館・博物館のそれぞれの役割分担を明確にしながら連携するべきである。 ・公民館について、利用率向上のための施策と生涯学習活動のための施策は分けて考えるべきである。 ・生涯学習という言葉の「学習」という意味が曖昧になっていると感じている。相互作用によって自分の考え方や経験を高めることが生涯学習の定義であることを踏まえて、偏りの無いよう取組を検討していくべきである。 ・図書館が公民館に図書を貸し出して、こどもたちが本に触れられる環境を増やしていくことも大切であると考え。 ・博物館では、入場者の満足度向上だけでなく、入場者数を増やす取組も必要である。 ・こどもたちが学習できる場所が少ないため、生涯学習施設のスペースを活用して学習環境を整えるような取組も検討していただきたい。	

【施策】 8 生涯学習活動の推進
【施策の柱】 (1)市立公民館の充実

細 施 策	①ライフステージにおける課題や現代的課題の学習	担当課	関連指標
		中央公民館	指標1
施 策 の 内 容	- 健康や環境、防災、多文化共生、情報革新といった社会情勢に応じて変化する課題に対応した講座等を開催し、地域の特色と社会の要請に応じた学習機会を提供します。 - SDGsを公民館においても地域とともに取り組んでいけるよう、課題解決に対応した講座を実施します。 - 川越の自然、歴史、文化、環境などを学び、地域に対する関心を高めるため、地域学習事業を推進します。		
令和6年度の主な実績	ライフステージにおける課題や現代的課題の学習の事業 291事業実施 延べ参加者数 26,045名		
現 状 ・ 課 題	現状 - 実施した事業は令和5年度の286事業から5事業増加しました。青少年に体験活動などの機会を提供し、子育てサロンの開催や高齢者向けのスマホ講座など、学習ニーズに応じた事業を実施しました。 課題 - 公民館講座の参加者には高齢化や固定化の傾向が見受けられます。今後は、住民ニーズを捉え、現役世代や新規参加者の増加を図ることが課題となっています。		
課 題 解 決 の ための 取 組	事業実施においては、電子申請での申し込みや抽選方式の採用、また土日平日夜間に事業を開催するなど、様々な世代がより事業に参加しやすくなるよう努めます。		

細 施 策	②生涯学習活動の拠点としての公民館の運営	担当課	関連指標
		中央公民館	指標2
施 策 の 内 容	- 公民館運営協力委員会を開催し、情報提供等を行って意見を聴取し、市民へのきめ細かな学習機会の提供に生かします。 - 公民館職員の研修を実施し、社会教育活動指導者としての意識向上及び学習事業の主催者やコーディネーターとしての技術向上を図ります。 - 公民館事業の実施状況について、公民館運営審議会等の協力を得つつ、自ら点検及び評価を行い、その結果を地域住民に対して公表していきます。		
令和6年度の主な実績	- 公民館運営審議会 4回 - 公民館運営協力委員会 26回（14委員会） - 公民館職員研修 初任者研修 1回、事業改善研修 1回 - 事業の実施状況の公表 令和5年度公民館事業記録を作成し、公表		
現 状 ・ 課 題	現状 - 公民館勤務年数が3年以下の職員に対して、初任者研修として公民館の事業と施設貸与に関する関係法令等の研修と公民館を取り巻く課題改善研修を行っています。 課題 - 広報川越の掲載方針の見直しなどにより、公民館講座の募集案内が限定されることになったことから、HP等の他の媒体を利用することにより周知することが必要となりました。		
課 題 解 決 の ための 取 組	令和6年度においては、初任者研修を行うとともに、全公民館職員を対象に、広報力のあるHPの作成方法の研修を実施していきます。		

【施策】 8 生涯学習活動の推進

【施策の柱】 (1)市立公民館の充実

細 施 策	③公民館を活用した子どもの居場所づくりの推進	担当課	関連指標
		中央公民館	指標1
施 策 の 内 容	行政と地域の団体や住民等が連携・協働し、放課後、子どもたちが勉強やスポーツ、文化活動を行える居場所づくりを推進します。		
令和6年度の 主 な 実 績	空き部屋を活用した自主学習の場づくりのための取組 4公民館 延べ参加者数1,964名		
現 状 ・ 課 題	現状 地域の実情に応じて、4公民館で試行的に実施しております。令和7年度に新たな公民館で実施できるよう、こども育成課と連携し会議を実施しました。		
	課題 事業の実施は利用率にも影響されることから施設の使用率の高い施設では取り組みづらい状況です。		
課 題 解 決 の た め の 取 組	施設利用に影響のない図書コーナーやロビーといった共有スペースを中心に取り組むとともに、空き部屋の活用を試行的に実施しながら、子どもの居場所づくりを進めます。		

細 施 策	④公民館の設置及び既存公民館の整備	担当課	関連指標
		地域教育支援課・中央公民館	指標2
施 策 の 内 容	- 身近な学習施設、地域活動の拠点として公民館を整備し、地域の実情に合わせ、施設の複合化等を検討していきます。 - 地域の学習拠点としての機能を発揮するため、公民館施設の修繕や施設設備の更新を行い、誰もが利用しやすい快適な施設環境を提供します。		
令和6年度の 主 な 実 績	【中央公民館】 - 川越市霞ヶ関公民館ほか空調設備改修工事 - 修繕実施件数 72件（要望件数 95件 実施率75.8%）		
現 状 ・ 課 題	現状 【地域教育支援課】 - 公民館の整備については、地域の実情や市の財政状況を勘案しながら進めています。 【中央公民館】 - 大規模な空調工事を1件実施しました。		
	課題 【中央公民館】 - 施設の老朽化が進んでいることから、今後も突発修繕に対応しながら計画的な修繕を進めていく必要があります。		
課 題 解 決 の た め の 取 組	【中央公民館】 施設修繕については、利用者の安全第一の部分（ライフラインや空調機）を今後も優先的に実施するように努めます。		

【施策】 8 生涯学習活動の推進

【施策の柱】 (2) 市立図書館の充実

細 施 策	①図書館サービスの充実	担当課	関連指標
		中央図書館	指標3
施 策 の 内 容	・地域の情報拠点として、これまで以上に図書館サービスの向上を図る取組を推進します。また、図書館利用に困難がある人に配慮した図書館サービスを行い周知に努めます。 ・市民の多様な要望に応えるために、各分野の資料の収集に努め、地域資料を整備します。 ・地域に関する情報提供サービスの事例を公開し、貴重な郷土資料の有効活用を図ります。 ・いつでもどこでも利用可能な電子書籍の拡充や情報のデジタル化を推進します。 ・近隣市町との図書館相互・広域利用及び大学や市立小学校・中学校・高等学校・特別支援学校図書室等との連携を図ります。 ・児童生徒の調べ学習及び読書活動推進等に向け、市立図書館から学校への図書貸出を推進します。		
令和6年度の主な実績	・蔵書数4館合計 885,863点 ・デジタルアーカイブのコンテンツ数 27点 ・図書・雑誌・視聴覚資料等の貸出 1,340,311冊 ・障害者等への郵送貸出サービス 図書等 136点 ・電子書籍 貸出延べ回数 21,574回、登録者数 17,891名 ・情報提供サービスの事例公開件数（レファレンス協同データベース） 6件 ・情報提供サービス 6,971件（中央） ・相互貸借 貸出冊数 4,936冊、借受冊数 9,682冊 ・川越市民の相互・広域利用貸出冊数 199,990冊 ・学校への図書団体貸出 小学校 5,076冊、中学校 591冊、高校 75冊		
現 状 ・ 課 題	現状 ・図書館の収集方針に基づき、市民の要望に沿った資料の収集に努めています。 ・近隣市町図書館との相互貸借を行い、市立図書館に所蔵が無い資料も利用者に提供しています。 課題 ・電子書籍の充実や郵送貸出サービスなど、特に非来館型サービスへの要望が多様化しています。		
課 題 解 決 の ための 取 組	・利用者の要望に応えられるよう蔵書の充実に努めます。郷土資料の有効活用を図るため、引き続き、デジタルアーカイブのコンテンツ数の増加や情報提供サービスの事例公開に取り組めます。 ・利用者からの多様化する要望に応えるため、各種図書館サービスの充実に取り組めます。		

細 施 策	②図書館を利用した学習活動の推進	担当課	関連指標
		中央図書館	指標4
施 策 の 内 容	・市民の多様な学習活動に即した講座や講演会等の事業を推進します。 ・読み聞かせボランティアや関係機関と連携し、子どもが読書に親しむ環境づくりに努めます。 ・図書や図書館への興味・関心を持たせるため、市立図書館職員の学級訪問等を通じて、読書活動の推進に努めます。 ・小・中学生に薦めたい図書のリーフレットを作成し、児童生徒が読書に親しむ環境の充実に努めます。		
令和6年度の主な実績	・講座及び展示等（郷土資料解題講座、映画会、各種おはなし会など） 1,041回開催 ・小学校3年生に対し、学級訪問及び学級招待を実施（32校、93学級、延2,960名参加） ・小学校1年生に対し、学級訪問を実施（10校、29学級、866名参加） ・推薦図書を掲載したリーフレット配布 小学生用 4回、中学生用 1回		
現 状 ・ 課 題	現状 ・読み聞かせボランティアや関係機関と連携しておはなし会などの事業を実施しています。 ・学級訪問及び学級招待を実施し、学習活動を推進しています。 ・推薦図書を掲載したリーフレットを配布しています。 課題 ・「川越市立図書館運営方針」に沿った事業の推進を、計画的に行う必要があります。 ・関係各課と連携し、学習活動を推進する必要があります。 ・中学生の利用率が低いため、図書館利用の方策を検討する必要があります。		
課 題 解 決 の ための 取 組	・「川越市立図書館運営方針」に関連する各種事業について、課題の整理を行います。 ・「第四次川越市子ども読書活動推進計画」に基づき、学校への団体貸出冊数や児童図書貸出冊数の拡大などに取り組めます。 ・学習活動推進のため、調べ学習などで図書館利用を促進するよう、学級訪問等の機会にPRを行います。		

【施策】 8 生涯学習活動の推進
 【施策の柱】 (2)市立図書館の充実

細 施 策	③図書館施設運営整備事業の推進	担当課	関連指標
		中央図書館	指標4
施策の内容	- 時代のニーズに応じた図書館運営方法について検討を進めます。 - 老朽化した施設・設備の整備、改修を計画的に実施します。		
令和6年度の主な実績	- 中央図書館外部改修工事設計業務委託 - 中央図書館外壁等アスベスト分析調査業務委託 - 西図書館会議室系統ほか冷暖房設備改修工事 - クラッセ川越照明器具等改修工事		
現状・課題	現状 - 中央図書館については建設から41年、西図書館及び川越駅東口図書館については建設から23年経過しており、冷暖房設備など各種設備の計画的な改修を進めています。 課題 「川越市立図書館運営方針」に沿った事業の推進を、計画的に行う必要があります。 - 全図書館を対象とした計画的な改修を検討していきます。		
課題解決のための取組	クラッセ川越の施設の修繕箇所を調査し、大規模改修に繋がる箇所を整理します。また、庁内関連課の協力を得ながら、図書館の改修計画策定に向け準備を進めます。		

【施策の柱】 (3)市立博物館の充実

細 施 策	①展示機能の充実	担当課	関連指標
		博物館	指標5
施策の内容	- 多様化する市民の学習活動への対応と観光に貢献する施設として、常設展示の充実を図ります。 - 新たな研究成果を反映させるとともに、学びやすい展示など、魅力的・効果的な企画や展示機能の充実に努め、市民はもとより市外からの来館者の増加を図ります。		
令和6年度の主な実績	- 令和5年度館蔵資料公開「職人の道具」 入館者数5,609名（令和6年度分） - 第32回収蔵品展「どうぶつさんたち大集合！川越動物園」 入館者数8,332名 - 令和6年度埼玉県名刀展「刀身彫刻の華」 入館者数4,467名 - 第51回企画展「ノガタとサトカター武蔵野の農業と技術」 入館者数12,478名 - 令和6年度館蔵資料公開「川越ゆかりの美術工芸品」 入館者数1,867名（令和6年度分） - 年間入館者数69,958名（前年度比122%） 「受付協展示ケース」や「ふるさとのまつりコーナー」等の展示情報のSNS発信 - 川越シャトルのデジタルサイネージへ展示情報の掲載 「職人コーナー」の展示替えを新たに年2回実施 - 常設展示室のキャプションを一部リニューアル		
現状・課題	現状 - 令和6年度の博物館の入館者数は、令和5年度から約22%増加し約7万人となりました。これは、令和5年度に入館者用トイレ工事のため3か月休館していたことから、その期間の入館者数が加算されたことによる増加と考えられます。 課題 - 博物館の展示に興味・関心を持ってもらえるような情報発信や、来館者のニーズを捉える情報収集の手法の検討が必要です。		
課題解決のための取組	- 受付協展示ケースやふるさとのまつりコーナーの最新情報を引き続きホームページやSNS、川越シャトルのデジタルサイネージ等で発信します。 - 小・中学校の学習にも活用できることから、展示・館蔵資料の情報をホームページやSNSを通じて発信することについて、引き続き検討します。 - 来館者のニーズを捉えるため、アンケートの内容や手法の見直しを検討します。		

【施策】 8 生涯学習活動の推進

【施策の柱】 (3) 市立博物館の充実

細 施 策	②郷土資料の収集・保存	担当課	関連指標
		博物館	指標5
施 策 の 内 容	・川越の歴史と文化に係る資料の収集・整理に努めるとともに、その保存と活用を図ります。 ・資料を保存する収蔵庫については、収蔵能力が不足しているため、効率的な収蔵保管に努めるとともに、新たな収蔵施設の確保を検討します。		
令和6年度の主な実績	・寄贈資料995点 購入資料3点（収蔵資料の累計42,655点） ・資料・物品の整理、点検作業の実施 ・資料整理計画に基づく資料整理の実施（整理点数4,045点）		
現 状 ・ 課 題	現状 ・郷土資料の収集・整理に当たっては、限られた収蔵スペースを効率的に運用するため、資料整理マニュアルに基づき整理作業を継続的に実施しています。 ・館外収蔵スペースについては、旧あけぼの・ひかり児童園、旧吉田学校給食センター、砂中学校金工室を使用していますが、いずれも収納面積が狭く、保存環境も悪いため、暫定的な利用に留まっています。 ・新たな収蔵施設の確保のため、令和6年度に職業センター跡地利活用について庁内で検討しましたが、博物館での利活用には至りませんでした。 課題 ・膨大な資料の整理作業を進めるため、計画的に行う必要があります。 ・今後収集していく資料の保管場所の確保および、暫定的に利用している収蔵施設が使えなくなった場合を想定し、恒常的な収蔵施設の確保について引き続き検討が必要です。		
課 題 解 決 の ための 取 組	・今後も貴重な郷土の歴史資料について系統的な収集を行うとともに、館内の収蔵環境が良好に保てるよう、資料整理計画に基づき、物品・資料の効率的な収納を進めます。 ・恒常的な収蔵スペースの確保に向け、市所有の未活用施設等の情報収集に努めます。 ・資料の効率的な管理を行うため、民間企業の外部保管庫を活用することを検討します。		

細 施 策	③教育普及事業の充実と学校教育との連携強化	担当課	関連指標
		博物館	指標5
施 策 の 内 容	・社会教育施設として、幅広い世代の学習要求に応えられる多くの事業を展開するとともに積極的な情報発信を行い、市民の利用機会の向上を図ります。 ・児童生徒が川越の歴史や文化等に興味や関心を持つことができる学習活動の更なる充実を図り、学校教育との連携を進めます。 その他の関連指標:指標6		
令和6年度の主な実績	・講座教室等の事業開催件数 34件、参加者数1,258名（新規事業2件） （大人向け事業 参加者数850名、こども向け事業 参加者数408名） ・教育活動の一環として博物館を利用した学校数 延べ337校・参加者数27,257名 （市内延べ95校・参加者数8,624名、市外延べ242校・参加者数18,633名） ・出前授業の実施数 市内小中学校99学級 ・第32回「むかしの勉強・むかしの遊び」展 入館者数11,170名		
現 状 ・ 課 題	現状 ・講座教室等の事業開催件数は、令和5年度の32件から2件増加し34件となりました。 ・学校利用数は、令和5年度の285校から52校増加し337校となりました。 課題 ・事業開催及び学校利用の件数及び参加者数は増加していますが、参加申込み方法に電話での先着順形式が多いため、参加申込み方法の改善及び充実した内容の事業実施のための受入れ体制構築・効率化の検討が必要です。		
課 題 解 決 の ための 取 組	・事業開催件数及び学校利用数が増加しているため、各事業の実施及び申込み方法・受入れ体制等について検討し、参加申込み方法の改善及び魅力的な内容の事業の実施に必要な体制構築及び効率化に努めます。		

【施策】 8 生涯学習活動の推進
 【施策の柱】 (3) 市立博物館の充実

細 施 策	④博物館・蔵造り資料館の整備	担当課	関連指標
		博物館	指標5
施 策 の 内 容	・社会教育施設及び観光拠点施設としての機能を充実させるため、博物館の整備を図るとともに、蔵造り資料館の耐震化を着実に進めます。		
令和6年度の主な実績	・屋根瓦修繕、誘導灯修繕、遮煙材交換修繕等を実施（博物館） ・受付施設、電源設備、雨戸修繕等を実施（川越城本丸御殿） ・防災設備等の設備保守点検を実施（博物館） ・蔵造り資料館店蔵耐震化工事を実施（令和5年度～令和8年度継続事業）（蔵造り資料館）		
現 状 ・ 課 題	現状 ・展示室内装、空調機器、資料運搬用エレベーター、非常照明設備用蓄電池設備など施設設備が老朽化しています。 ・蔵造り資料館店蔵の耐震化工事を実施するとともに、工事見学会及びSNS等の発信を行い、工事の進捗状況の紹介と耐震化事業の周知に努めました。 課題 ・博物館の施設設備の改修を進める必要があります。 ・蔵造り資料館店蔵耐震化工事について計画通り進めていく必要があります。 ・耐震化事業は長期化が見込まれます。		
課 題 解 決 の ための 取 組	・博物館については、老朽化、破損した箇所の修繕を順次進めます。 ・蔵造り資料館店蔵耐震化工事について、関係各所と連携して、引き続き適切に施工管理していきます。		

【施策の柱】 (4) 人権教育の推進

細 施 策	①人権教育の充実	担当課	関連指標
		地域教育支援課	—
施 策 の 内 容	・様々な人権課題に対応した人権教育の充実を図ります。 ・人権問題を広く市民に考えてもらうため、各種人権啓発資料の作成・活用を図ります。 ・学校・家庭・地域と連携した各種研修会を実施し、人権課題について正しい理解と認識を育むよう努めます。 ・児童生徒の心身の成長過程に応じて、人権尊重の意識を高め、一人ひとりを大切にする教育を計画的に推進します。		
令和6年度の主な実績	・人権啓発資料作成 人権カレンダー30,000部 ・人推協だより『人権かわごえ』（年2回）各30,000部発行 ・人権作品集『あけぼの』を2,600部発行、『あけぼの』を活用した授業実践 ・人権教育推進事業 委嘱公民館3館・委嘱校10校 ・人権教育推進事業における実践や授業研究会の記録等を『川越市の人権教育』（人権教育実践集録）としてまとめ、200部発行 ・人権絵画展「いのち・こころを大切に作る絵画展」を市立美術館で開催 3日間597名		
成 果 実 績	項目名（単位）	令和4年度	令和5年度
	人権作文・標語・絵画応募総数（点）	726	724
		令和6年度	678
現 状 ・ 課 題	現状 ・人権絵画の出品数は減少傾向にありますが、人権啓発資料や人権教育に関わる成果物を作成し、市民に広く配布・活用することで、同和問題をはじめとする様々な人権課題に対応した人権教育を推進することができました。 課題 ・同和問題をはじめとする様々な人権課題を解決し、差別のない明るい地域社会をつくるためにも、学校・家庭・地域が三位一体となり、研修会での意見交換や人権啓発資料などからの情報収集を通じて連携を強化していく必要があります。		
課 題 解 決 の ための 取 組	・当課で所管する川越市人権教育推進協議会主催の人権啓発フィルム研修会や人権教育実践報告会の実施に際し、PTAや子ども会育成会、さらには教職員等が、各種テーマに基づき意見交換をする場を設け、相互理解が深まるようにしていきます。特に、教職員等におきましては、校種を越えたグループ協議が行えるよう工夫していきます。		

【施策】 8 生涯学習活動の推進

【施策の柱】 (4)人権教育の推進

細 施 策	②人権教育指導者の養成	担当課	関連指標
		地域教育支援課	—
施 策 の 内 容	・ 様々な人権課題の解決を目指し、市民一人ひとりが正しい認識を深めるため、人権教育指導者養成に努めます。 ・ 様々な人権課題を網羅的に扱うよう、計画的に教職員研修を行います。		
令和6年度の 主 な 実 績	・ 公民館における人権教育講座の実施 市内18公民館 27講座 参加者1,123名 ・ 人権教育指導者養成講座を川越市小堤集会所協力委員会で実施 4回 参加者77名		
成 果 実 績	項目名（単位）	令和4年度	令和5年度
	公民館における人権教育指導者養成講座参加者数（名）	1,899	1,441
現 状 ・ 課 題	現状 ・ 講座への参加者数は減少傾向にありますが、市内各公民館や小堤集会所において、人権教育講座や人権教育指導者養成講座を、概ね計画通りに実施することができました。		
	課題 ・ 市民センター構想による公民館事業の見直しなどの影響により、人権教育講座の事業確保が課題となっており、人権教育講座の在り方を継続して見直す必要があります。		
課 題 解 決 の た め の 取 組	・ 人権教育講座の実施方法について、複数の公民館による合同開催も可能としたり、一つの講座に対する参加対象者を拡大させたりすることで、より多くの市民が人権に対する正しい理解を深められるようにします。また、単独館における人権テーマのローテーションについては、継続していきます。		

細 施 策	③関係機関・団体等との連携	担当課	関連指標
		地域教育支援課	—
施 策 の 内 容	・ 関係機関・団体等と連携した教育活動を推進します。 ・ 自治会等と連携した教育活動を推進し、学習の場としての集会所事業を推進します。		
令和6年度の 主 な 実 績	・ 川越市小堤集会所習字教室 24回 参加者592名 ・ 川越市小堤集会所事業 フレンドスクール 3回 236名 成人・高齢者講座 5回 98名		
成 果 実 績	項目名（単位）	令和4年度	令和5年度
	ふれあいまつり参加者数（名）	—	161
現 状 ・ 課 題	現状 ・ 小堤集会所事業について、計画通りに実施することができました。特に、フレンドスクールでは、5年ぶりに異世代交流をねらいとしたグランドゴルフ教室を実施することができました。また、集会所事業の集大成である集会所ふれあいまつりについても、計画通り実施することができました。		
	課題 ・ 集会所事業の担い手や参加者の減少が見られます。持続可能な集会所事業の在り方について、検討していく必要があります。		
課 題 解 決 の た め の 取 組	・ 集会所事業の在り方を継続して見直すとともに、各種講座一つ一つの目的や内容について、再検討・再構築していきます。		